

## 地域の取組みで大事にしたいこと

大成小学校区は弘前市の代表的な商店街があること、中央弘前駅やその周辺の緑地・公園が多いこと、古い建物や歴史的な文化財が多く残っていることなど、生活環境がよいことが確認されました。また、観光客も多く訪れる地域でもあります。

その一方で、商店街などで市民や学生が少なくなったこと、少子高齢化が著しいことなど、地域の問題点も再認識しました。

このようなことから、大成小学校区では、“魅力と不安を活かす”をキーワードに次のことを大切にしていちまちま進めていきます。

- ① 地域が一体となった“人がつながる”大成地区にする
- ② 商店街を中心に人・物の交流を促進させる
- ③ 地域の資源を最大限活用した、地域活性化への取り組み

これから取組みたいこと（暮らしがより楽しめる地域にしていくために）

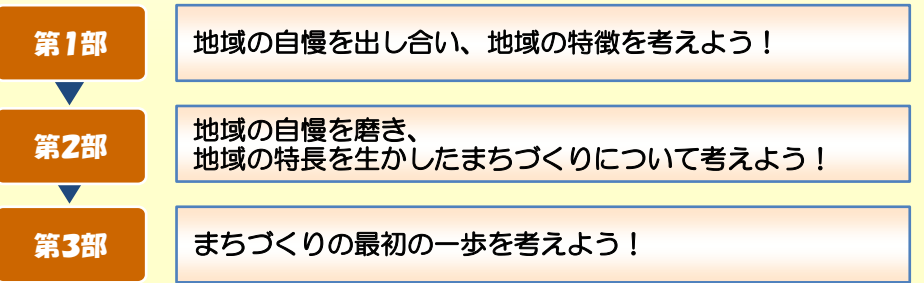
テーマ	取り組み	具体的に何をするか？	優先度	誰がやるか？
交流	学び講座	旧第一大成・第二大成小を意識しないで、地域の連携を強くする。例えば、 ・名称を“大成学区学び講座” ・料理教室、ゴルフ教室、子育て	◎	学び講座運営委員 町会 地域住民
	町会主催の“まち育てミーティング”の開催	将来の地域づくりについて積極的に議論する場をつくる。例えば、 ・若い人の参加、学校の参加 ・コーディネーターの協力 ・小学校地域交流室の活用	◎	各専門家、企業 地域住民 PTA
	学校でのボランティア活動	教師の負担を軽減させるため、学校教育への積極的な参加をする。例えば、 ・校外社会見学の引率 ・絵本などの読み聞かせ	○	学校 地域住民
	空きスペースの有効活用	空き店舗や空き家を有効活用する。例えば、 ・地域のお茶のみ会 ・（東京おもちゃ美術館のような人）を呼べる空間づくり	○	町会 行政
	昔の人の話を聞く	大成小学校の歴史や昔の遊びを伝える。	◎	地域住民
大成（地域）の資源	土淵川を活用	土淵川の清掃や周辺をライトアップをして、きれいな散歩コースをつくる。	△	町会 行政
	土手町の魅力	観光資源やイベントで、“歩きたい”と思わせる土手町をつくる。例えば、 ・合同ねぶた運行 ・まち歩きツアー ・観光スポットのライトアップ ・土手町の魅力発掘	△	イベント主催者 NPO
	雪だるま	土淵川、吉野緑地公園、商店街を利用して、雪だるまをつくる。 ・一つの特徴あるイベントの開催	○	小学校 PTA

## 大成小学校区

地域を自分たちの暮らすまちとして、皆で協力して、守り、育てていくため、弘前市では、「まち育て」という考え方のもと、市民の自主的な活動への支援や、各種計画の策定や事業実施における市民参加を進めています。

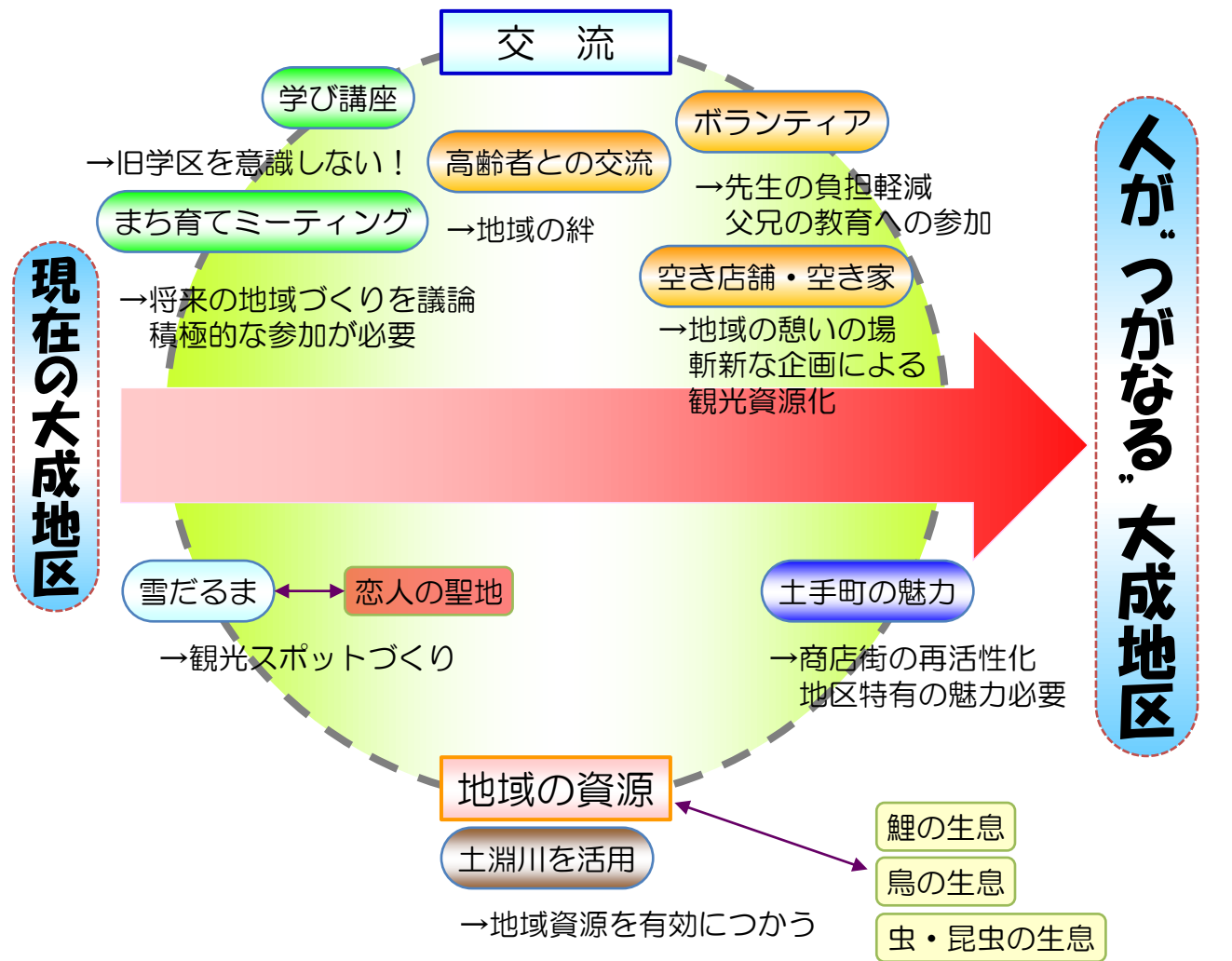
この地域別構想は、地域別のまち育てミーティングを通して地域にお住まいの皆さまの生のご意見をいただくとともに、地域の資源を生かしながら、住まい環境をより良いものにしていくために、具体的にどんな取組が必要か、どうしたら実現できるのかを皆さまと考えながら作成されました。

## ○まち育てミーティングにおける検討の流れ



まち育てミーティングの様子

## 大成小学校区の価値観（地域の特徴や大事にしたいことは何か？）





# 大成小学校区の資源マップ（地域の自慢や課題はどこにあるか？）

交流		
①	学び講座	☆☆
②	町会主催の“まち育てミーティング”の開催	☆
③	学校でのボランティア活動	
④	空きスペースの有効活用	
⑤	昔の人の話を聞く	☆

大成（地域）の資源		
①	土淵川を活用	
②	土手町の魅力	☆
③	雪だるま	

凡 例	
●	商業施設
●	医療施設
●	学校
⛩	神社
●	観光資源
○	活動
☆	優先度が高い取組み
☆	既存の取組をベースにした取組

吉野町緑地公園

吉野町煉瓦倉庫

中央弘前駅

松尾神社

富田の清水(しっこ)

弘前昇天教会

大成小学校

JR弘前駅

弘前厚生学院

小学校跡地



地域の取組みで大事にしたいこと

第三大成小学校区は“地域づくり連絡協議会”があり学校や地域とのつながりが良いこと、藩政時代からの神社・仏閣が多く歴史的・文化的な施設や建物が多いこと、伝統的な行事が残っていることなど、生活環境がよいことが確認されました。また、地域活動も盛んでコミュニティのある地域でもあります。

その一方で、小道が多く道路が歩きづらいこと、公共交通機関の利便性が悪いこと、少子高齢化により空家が多いことなど、地域の問題点も再認識しました。このようなことから、第三大成小学校区では、“絆”をキーワードに次のことを大切にしまちづくりを進めていきます。

- ① 伝統的な文化を継承する ②生活環境を向上させる ③だれもが安心する“居場所”の創造

これから取組みたいこと（暮らしがより楽しめる地域にしていくために）

テーマ	取り組み	具体的に何をするか？	優先度	誰がやるか？
絆	世代交流事業	弘前大学の学生の意見を導入して情報発信する。 ・若い人材の参加を増やす	◎	地域づくり連絡協議会
施設	まちの保健室	空き家や空き店舗のリフォーム、学校の空き教室を利用して子ども達の居場所を確保する。 ・多世代交流カフェ・遊びスペース	△	住民行政
生活・道しるべ	バスの路線拡大	利便性を向上させるため、１００円バスの路線を延長する。 ・松森町～富田～柵形	△	住民行政 弘南バス
	街灯の設置	街灯を設置してまちを明るくする。 ・取上～清原 ・第三大成小学校～柴田幼稚園	△	住民行政
	渋滞緩和	交差点の著しい渋滞を緩和する。 ・信号の青時間を長くする	△	住民行政、警察
	ジャンル別マップづくり	観光資源を最大限活用して、地域の観光マップをつくる。 ・おすすめ散歩マップ ・地名や由来の標識 ・歴史的なスポットの充実	◎	町会
	通学路の充実	安全な歩行空間を確保するため、通学路を充実させる。 ・柴田幼稚園～ふたば保育園 ・取上～みちのく銀行 ・朝、夕の見守り	△	住民行政 警察
	あいさつ“声かけ運動”	“絆”でつながるまちづくりと地域住民の意識向上のため、普段からあいさつをする。 ・頻繁に“声かけ”する ・組織づくりと担い手の育成	◎	住民学校
文化伝統	獅子舞	地域の伝統的な“獅子舞”を後世につなげていく。 ・学校との連携（教育） ・指導者の育成・情報発信（宣伝）	○	住民学校
	貴船神社でのイベント盛り上げ	藩政時代から存在する貴船神社で行われているイベントを、町会を超えた交流で盛り上げたい。 ・宵宮、ラジオ体操、盆おどり	○	町会 神社 学校

第三大成小学校区

地域を自分たちの暮らすまちとして、皆で協力して、守り、育てていくため、弘前市では、「まち育て」という考え方のもと、市民の自主的な活動への支援や、各種計画の策定や事業実施における市民参加を進めています。

この地域別構想は、地域別のまち育てミーティングを通して地域にお住まいの皆さまの生のご意見をいただくとともに、地域の資源を生かしながら、住まい環境をより良いものにしていくために、具体的にどんな取組が必要か、どうしたら実現できるのかを皆さまで考えながら作成されました。

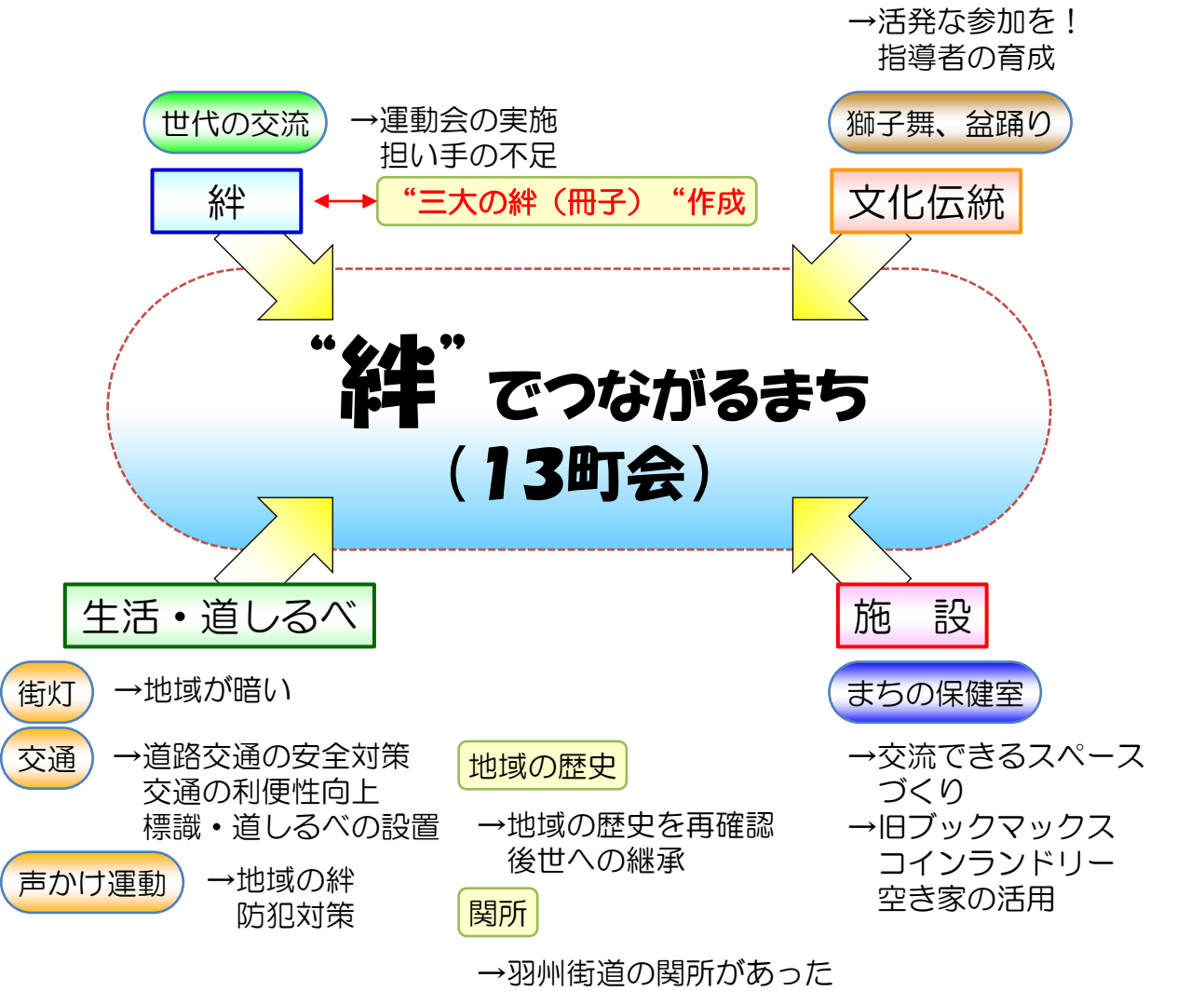
○まち育てミーティングにおける検討の流れ

第1部	地域の自慢を出し合い、地域の特徴を考えよう！
第2部	地域の自慢を磨き、 地域の特長を生かしたまちづくりについて考えよう！
第3部	まちづくりの最初の一步を考えよう！



まち育てミーティングの様子

第三大成小学校区の価値観（地域の特徴や大事にしたいことは何か？）





# 第三大成小学校区の資源マップ（地域の自慢や課題はどこにあるか？）

絆		
①	世代交流事業	★
生活・道しるべ		
①	バスの路線拡大	
②	街灯の設置	
③	渋滞緩和	
④	ジャンル別マップづくり	★
⑤	通学路の充実	
⑥	あいさつ“声かけ運動”	★★



追掛稲荷大明神



地蔵尊



ブックマックス跡



施設	
①	まちの保健室

文化伝統	
①	獅子舞
②	貴船神社でのイベント盛り上げ

凡 例	
●	商業施設
●	医療施設
●	公民館・集会所・学校
●	保育園
⛩	神社
●	観光資源
●	活動
★	優先度が高い取組み
★	既存の取組をベースにした取組



旧国道交差点（旧木戸跡）



東北女子大学



貴船神社



弘前病院



金山神社



第三大成小学校



しばた幼稚園



## 地域の取組みで大事にしたいこと

文京小学校区は弘前学院大前駅や西弘商店街を中心に、お祭りを企画したりねぶた製作に積極的に取り組んでいること、あいさつ運動も盛んであることから地域のつながりが良いことが確認されました。また、学校・学生が多いことから比較的若い世代の人が多いこともわかりました。

その一方で、道路が狭くて危険な箇所が多いこと、地域住民と学生とのコミュニケーションが少ないことなど、地域の問題点も再認識しました。このようなことから、文京小学校区では、“学生と共生”をキーワードに次のことを大切にしまちづくりを進めていきます。

- ① 大学・学生と連携した地域のつながり
- ② イベントを通じたコミュニティのある地域の絆
- ③ “安心・安全”な道路交通環境の創出

## これから取組みたいこと（暮らしがより楽しめる地域にしていくために）

テーマ	取り組み	具体的に何をするか？	優先度	誰がやるか？
地域交流	大運動会	地域と学校との交流を促進させるため、共同運動会を開催する。 ・若者との出会いの場	○	町会・PTA 文京地区体育協会 学区学び講座
	みんなで学校に行こう	地域と学校との交流を促進させるため、学校に遊びに行く。 ・学食での食事・学習発表会への参加	○	学校 PTA 芸能団体
	地域と大学生の 掲示板“フナ・プロ”（フナコプロジェクト）	津軽伝統工芸品の“フナコ”を活用して、地域の活性化を図る。 ・大学サークルへの参加 ・“フナコ”と大学のコラボ ・（津軽弁講座）	△	地域住民 各大学
	高齢者と子どもの集いの場	高齢者とのふれあいを多くするため、部屋を借りて集いの場をつくる。 ・子どもの所へ地域が、地域の所へ子どもが ・おはじき、お手玉など昔の遊びをする	○	体育センター （スポネット）
	“絆”～地域と教師と子ども～	学校に通学できない子どものために、子どもが通う場所をつくる。 ・集会所・空き家	○	地域住民 行政、教育委員会 PTA
生活	ねぶた絵ロード	地域で盛んである“ねぶた”を活用して、商店街や道路にねぶた絵を飾る。 ・体験コーナーやコンテスト実施 ・標語とｺﾏﾝﾄﾞ・ろうそくねぶた絵の展示	○	商店街、職人 学生 小中学校
	声かけプロジェクト	“あいさつが活発”な地域をつくるため、あいさつ運動で地域の繋がりを強くする。 ・一声、二声、どんどん声を！	◎	地域住民
交通安全	標語	子どもたちや学生が交通安全の標語を書いて校区内に設置する。 ・標識、看板に標語を設置 ・頻繁に入れ替えて“違反ストップ”	◎	学校 アパート管理者 行政
	交通マナー	自転車の交通マナーが悪いため、学校と連携した交通マナー向上に取り組む。 ・学校との連携したマナー教室 ・大学のトイレに標語	○	学校 行政 警察
	交通モデル地区	交通安全に積極的な地域をアピールするため、交通モデル地区をつくる。。 ・道路カラーリング ・交通情報の調査、情報提供	○	交通安全協会 消防団、町会 PTA

## 文京小学校区

地域を自分たちの暮らすまちとして、皆で協力して、守り、育てていくため、弘前市では、「まち育て」という考え方のもと、市民の自主的な活動への支援や、各種計画の策定や事業実施における市民参加を進めています。

この地域別構想は、地域別のまち育てミーティングを通して地域にお住まいの皆さまの生のご意見をいただくとともに、地域の資源を生かしながら、住まい環境をより良いものにしていくために、具体的にどんな取組が必要か、どうしたら実現できるのかを皆さまで考えながら作成されました。



○まち育てミーティングにおける検討の流れ

第1部

地域の自慢を出し合い、地域の特徴を考えよう！

第2部

地域の自慢を磨き、  
地域の特長を生かしたまちづくりについて考えよう！

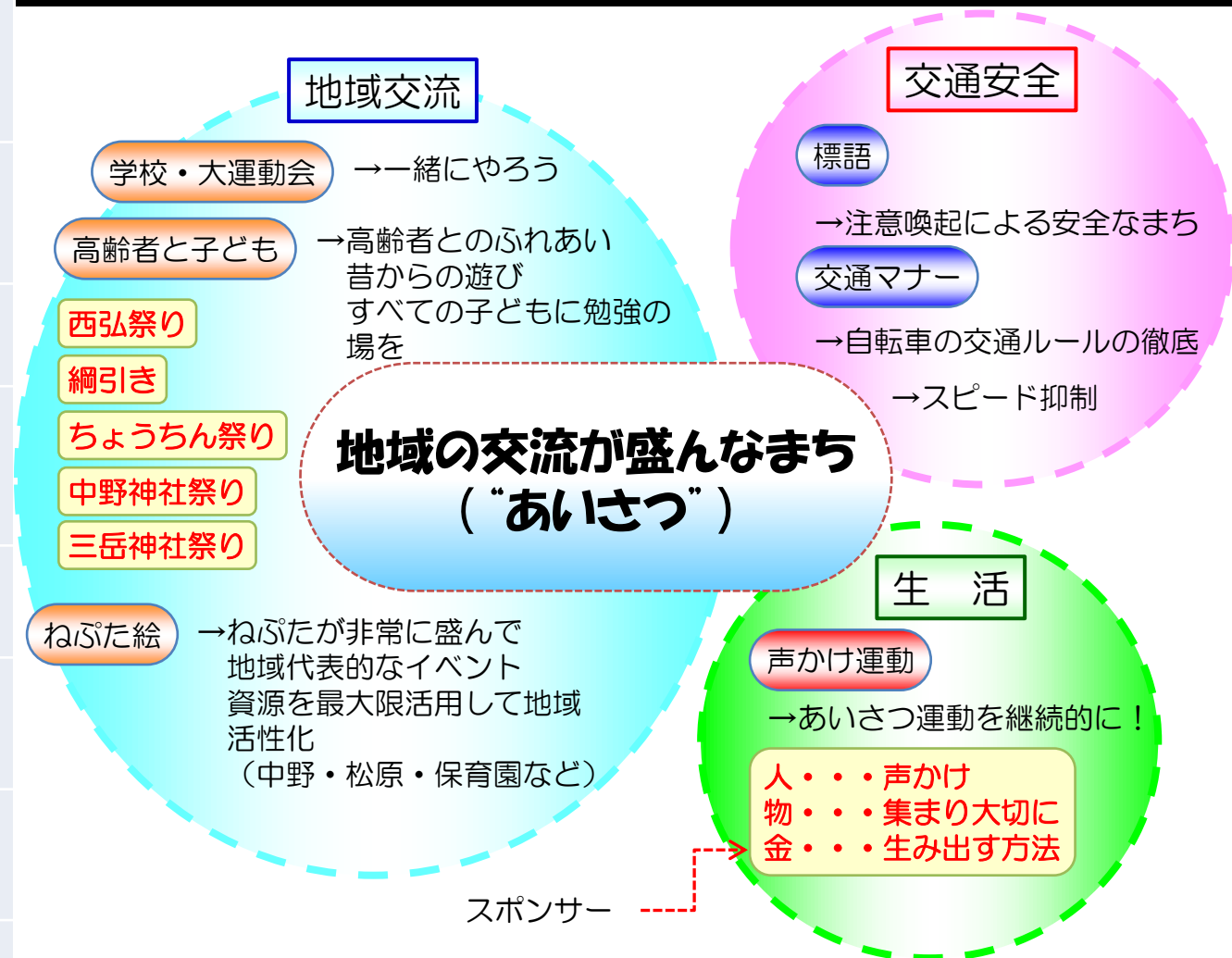
第3部

まちづくりの最初の一步を考えよう！



まち育てミーティングの様子

## 文京小学校区の価値観（地域の特徴や大事にしたいことは何か？）





# 文京小学校区の資源マップ（地域の自慢や課題はどこにあるか？）

## 地域交流

- |   |                                      |   |
|---|--------------------------------------|---|
| ① | 大運動会                                 | ☆ |
| ② | みんなで学校に行こう                           |   |
| ③ | 地域と大学生の掲示板<br>“ブナ・プロ”<br>(ブナコプロジェクト) | ★ |
| ④ | 高齢者と子どもの集いの場                         |   |
| ⑤ | “絆”<br>～地域と教師と子ども～                   |   |
| ⑥ | ねぷた絵ロード                              | ☆ |

生活

- ① 声かけプロジェクト  



## 交通安全

- |   |         |   |
|---|---------|---|
| ① | 標語      | ★ |
| ② | 交通マナー   |   |
| ③ | 交通モデル地区 |   |

凡 例

-  商業施設
-  医療施設
-  公民館・集会所・学校
-  保育園
-  神社
-  観光資源
-  活動
-  優先度が高い取組み
-  既存の取組をベースにした取組

